

JAL とワンワールド アライアンスメンバーは 米国西海岸の空港において新たに SAF を調達します

～2027 年より米国西海岸発の定期便に搭載します～

2022 年 3 月 22 日

第 21130 号

2022 年 3 月 21 日、JAL とワンワールド アライアンスメンバーであるアラスカ航空、アメリカン航空、ブリティッシュ・エアウェイズ、フィンエアー、カタール航空は、米国コロラド州にある再生可能燃料製造会社の Gevo Inc. (ジーボ) 社(*1) から SAF (Sustainable Aviation Fuel) を購入する意思を共同で表明しました。2027 年からの 5 年間にアライアンス全体で合計約 75 万キロリットルの SAF を調達する計画で、JAL では米国西海岸のロサンゼルス国際空港、サンフランシスコ国際空港、サンディエゴ国際空港発の定期便に搭載する予定です。



Gevo 社プラント

JAL は、2021-2025 年度 JAL グループ中期経営計画(*2)において、2050 年のカーボンニュートラルの達成に向けて 2025 年に全燃料搭載量の 1%、2030 年に 10%を SAF に置き換えることを発表しています。2021 年 11 月 30 日に購入の意思を表明(*3)した Aemetis Inc. (アメティス) 社は SAF の原料として廃食油を使用していますが、今回ワンワールドで新たに購入する Gevo Inc. 社にて製造される SAF は非食用トウモロコシを使用しています。世界的に SAF の供給量が不足している現状において、ワンワールドとして複数の航空会社でさまざまな原料から製造される SAF の必要性を継続的に示すことで、SAF の普及・市場の拡大に貢献し、航空のカーボンニュートラルを促進します。

今後も世界中で SAF の調達を目指し、ワンワールドでの活動を加速していくとともに、ACT FOR SKY(*4)の活動を通じて業界の垣根を超えたオールジャパン体制で国産 SAF の商用化および普及・拡大にも取り組んでまいります。



(*1) Gevo Inc.社

2005年に米国コロラド州で設立。トウモロコシの産地であるミネソタ州にて、非食用トウモロコシを原料にガソリンや SAF、ディーゼルを製造した実績があり、今後も原料が豊富な米国中西部に生産地点を増やし、SAFの生産規模を向上させる予定である。また製造過程にて再生可能エネルギーを用いることで、排出量の低炭素化を実現することをミッションとする。

(*2) 2021年5月7日付プレスリリース 第21012号『2021-2025年度 JALグループ中期経営計画を策定』

<https://press.jal.co.jp/ja/release/202105/006065.html>

(*3) 2021年12月1日付プレスリリース 第21082号『JALとワンワールドアライアンスメンバーは米国サンフランシスコ国際空港において SAFを調達します』

<https://press.jal.co.jp/ja/release/202112/006392.html>

(*4) 2022年3月2日付プレスリリース『国産 SAF(持続可能な航空燃料)の商用化および普及・拡大に取り組む有志団体「ACT FOR SKY」を設立』

<https://press.jal.co.jp/ja/release/202203/006558.html>

以上

